

三月議会の一般質問(要旨)

基地問題について

住宅防音工事の拡大について

国は、「騒音の測定を行なって 岩国市としては、住民の方がいるが、防音工事の拡大に關し 不公平感、不満を持っておられるが、態様の変化がないと困難 することは承知している。実態に であり見直しが必要な状況では 即した区域指定を行なうよう国 ない」としている。

に要望している。

放送受信障害対策事業の拡大について、

減免区域の設定基準が騒音被害や電波障害の実情に合わない面もあり、地域の実情に基づき減免措置区域の拡大を国に要望していると答弁しました。

し、大変うるさい。実態に即して区域指定を行なうというのであれば山を境界にするべきだ」と強く求めました。

私は、「灘地区、通津地区はジェット機の騒音が山にこだま

地産地消について

学校給食に地元食材の使用を

更に拡大することについて

新鮮で安心・安全を基調としてと答弁いたしました。

地産地消野取り組みは大変重要と考えており、今後は地元生産業者、生鮮食料品を取り扱う業者、学校栄養士の参加する協議会を設立し、地元の農産物等を取り入れるよう取り組んでい



錦川流域の

災害対策について

河川の浚渫及び改修について

河川激甚災害対策特別緊急事業は5年間で約80億円を投じて河川改修等が行なわれていると答弁がありました。

私は激特事業以外の地域は、基本的に下流域から河川浚渫を行なうべきだ。

具体的には、八幡堰上流の多量の中洲の除去をはじめ、順次、上流へ実施するよう求めました。

久間防衛大臣の「しょうがない」発言

「議員は「予算を否決すれば、参議院選挙に影響する。このたびは賛成するしかない。」

久間防衛大臣の「しょうがない」発言、辞任理由は被爆地の国民に謝罪ではなく、参議院選挙に大きな影響があるからとのこと。

自民党議員の発想は両方もよく似ている。

要求要望実現

萩原団地

団地内の地籍図訂正

大きく前進



山田議員は、十年前から自治会長さんから団地内道路を岩国市道にするために相談を受けていました。

調査をすすめる中で、法務局の図面(地籍図)と現況が異なっていることから、団地内道路を岩国市が管理する道路に出来ないことが判明。自治会の皆さんと一緒に取り組み、岩国法務局、法務省、法務省山口本局と何度も協議を進めてきました。

結果、地籍訂正に必要な「基準点」を法務局で今年度中に設置することの確約を得ました。

今、自治会では地元説明会を開催し、地籍訂正の準備を進めています。

海士路地区で永年、防火水槽の設置が求められていましたが、地権者の協力で実現いたしました。



山田やすゆき市政報告

日本共産党岩国市議会議員

海士路町2 55 7
31 2985

しん旗
赤旗
お読みください
日刊 月 2900円
日曜版 月 800円

市民生活に直結した予算

臨時議会で可決

六月議会は、三月議会に続き艦載機受入れ容認する議員十七名によって岩国市の予算を否決いたしました。

六月二十九日に臨時議会を召集し、交通局予算の修正案(分営化して嘱託職員身分の安定等盛り込んだ予算を削除)を艦載機受入れ容認する会派が急遽提出し、賛成多数で承認されました。

一般会計予算は、市庁舎建設費に当初合併特例債を盛り込んでいましたが、従来通り国の補助金を計上し、三十一の賛成多数で可決されました。

一般質問には二十一名が質問に立ちました。私、山田やすゆきは、民間空港問題、中小企業融資制度問題、アルゼンチンアリ対策について質問を行ないました。

民間空港は第二の愛宕山の危険

●R ●C
岩国基地のマスタープラン。市長の答弁を求めると、

民間空港は従来から取り組んできた問題だ。米軍再編が円て岩国市は三分の一の負担で費用効果の面で有利である。

望んでいる。再編問題の中に位置づけられ難しい状況になっていく。再編問題の中に位置づけられ難しい状況になっていく。

置つけられ難しい状況になっていく。再編問題の中に位置づけられ難しい状況になっていく。

中小企業制度融資について

大企業が史上最高の収益を上げる一方、働いても働いても貧困から抜け出せないワーキングプアが社会問題になっている。「経済白書」でも今日「景気回復は「貧困と格差の拡大」と指摘しています。

中小企業は、日本経済に重要な役割を担っており、国内でも事業所数で99%、労働者数では70%を占め、日本経済の主役であることを紹介しました。岩国市内でも累積債務で苦しむ中小企業、大店舗の攻勢に苦しむ小規模小売店など大

の他を利用するもので最小の経費で再開できる。事業費は134億円で岩国市は三分の一の負担で費用効果の面で有利である。全国的にローカル空港の利用率は減少しつつある。需要予測を誤ると第二の愛宕山になると指摘し、軍民共用空港は大変危険で中止すべきと主張しました。

私は、「責任共有制度」が導入されれば審査が更に厳しくなるという活用しやすい制度融資にするよう求めました。



アルゼンチンアリの駆除対策について

私は、平成十四年十二月議会の以後何度もアルゼンチンアリの駆除対策について求めてまいりました。環境省にも何度も対策を求めて参りました。アルゼンチンアリの生息範囲は拡大しています。住民は、市の対応にいらいらしています。岩国市としての対応を求めます。

平成十八年三月に広島県、山口県、廿日市市、岩国市で構成する「アルゼンチンアリ対策広域行政協議会」を結成し、同年八月、環境省にアルゼンチンアリ



2.5mmから3mm